

野外教育事業所 ワンパク大学とは

1975年に伊豆七島三宅島の観光施設「人間牧場」で発足した団体です。当時、都会のもやしっ子という言葉がやはりテレビのコマーシャルでは「ワンパクでもいい。たくましく育てほしい」というキャッチフレーズが使われていた時代でした。四季の自然の中で「新しい発見・大きな感動」を求め、現在は、東京都新宿区に拠点をおき、幼児から大人を対象に、年間を通した自然体験活動の企画運営を行っている都市型の自然学校です。「大学」と名付けたのは、様々な年代の人が共に学び、共に成長をする場という思いが込められています。

ワンパク大学の理念

「新しい発見・大きな感動」を体験し「生きる力」を身につけ、個性豊かで生き生きとした「ワンパクなひと」を育てるひとづくりを目指します。

いのちのつながり

自然体験活動を通して、地球のすべての「いのち」がよりよく関わるために行動していくことを目指しています。

ワンパク大学がめざす

ワンパクな子ども、ひととは？

- ・夢を語り、夢を持ち続ける子ども
- ・心も体もたくましい子ども
- ・五感を使い、身近な自然に気づく子ども
- ・コミュニケーション能力のある子ども
- ・自分から気づき、考え、行動ができる子ども
- ・一生懸命が好きな子ども



ワンパク大学の活動の約束

ワンパクのちがい

- ・自分のことは自分でする
- ・最後までやりぬく
- ・友達大切にする
- ・あいさつは大きな声でする
- ・絶対に泣かない
- ・約束を守る



「ワンパクのちがい」に基づいた、生活指導に力を入れております。遊びの中にもルールがあることを学び、安全に活動をするための知識や、野外で活動するために必要な技術を丁寧に指導をし「ワンパクな子ども」をめざします。

ワンパク大学が大切にしている3つの「新しい発見 大きな感動」とは

1.自分

自分の新しいチカラを発見し、感動すること
新しいことに挑戦し、できないと思っていたことに取り組み、やり遂げることで、自分に自信を持って成長できる体験をします。

2.ひと

ひととのふれあいから感動を得て、ひとりで生きていないことに気づくこと。
少子化、地域交流が少なくなっている現在において、異年齢集団での活動を通して仲間意識、譲り合い、協力を学んでいきます。

3.自然

自然の力強さ、美しさ、厳しさ、素晴らしさに感動していくこと。
地球という大きな自然の中で暮らしています。ひとと自然の一部であることを認識し、自然体験活動を通して豊かな感性を育てていきます。

ホームページには、団体概要・理念・職員紹介・沿革・申込方法・各種書類のダウンロードなどが掲載されております。是非、ホームページをご覧ください。



当団体は一般社団法人日本アウトドアネットワークのアウトドア事業者安全評価認証制度によって「セーフティーアウトドア事業者」に認証されています。



当団体はNPO法人自然体験活動推進協議会が事務局を務めるSAFETY OUTDOORキャンペーンに参加しています。



当団体はSDGs(持続可能な開発目標)に参加しています。SDGsは2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国に全会一致で採択された国際目標です。



子どもたちにとって大切な夏休みにワンパクな体験を提供します

子どもたちにとって、楽しみにしている長い夏休みがやってきます。ワンパク大学は48年目の夏を迎えます。

日帰りではできない活動や行くことのできない場所でのサマーキャンプを用意しています。

幼児にとっては、初めてのお泊りの体験は、本人も保護者も不安がいっぱいです。しかし、キャンプを終えた解散時の子どもたちの顔は見違えるような表情をしています。それは、間違いなく大きな冒険を乗り越えた満足な表情です。

今年も、いろいろなフィールドで様々なキャンプを用意しました。

ぜひお子様を冒険の旅にだしてください。お待ちしております。

代表 三好 利和 (ドン・ガバチョ)



参加者の声

- 「参加のしおり」にふりがなを丁寧にふって下さっているので子供が1人でも読めて自分で準備が出来ると共に、スケジュールも分かりやすく、だいたいの内容を理解してから参加することが出来て、より充実した時間を過ごせたと思います。

- 朝から晩まで、いろいろなプログラムが入っており充実していると思いました。またそのようなプログラムもたくさんあり忙しい中、毎日スタッフの方が、活動の記録にコメントを書いてくださり、様子がよく分かりありがたく思いました。

- オンラインアルバムがとても充実しており、閲覧やダウンロードの期限がないことも大変有難く思います。キャンプ中も子供の様子を知ることが出来るので安心しますし、帰宅後も子供と一緒に何度も楽しかった時間を振り返ることが出来て、子供も画像であらためて振り返ることによって思い出がより濃く鮮明になっていると感じます。

- 島のキャンプ

【三宅島火山島キャンプ】

火山口を見に行ったこと、スノーケリングや海でのこと溶岩の流れる速さや、溶岩が中学校の前で止まっている場所について、興奮しながら話してくれました。色々な火山へ連れて行って頂いたことや星がたくさん見えたことの方が思い出になったようです。来年も三宅島に行く！と本人が言うほど楽しめた充実したプログラムでした。

【大島アドベンチャーキャンプ】

家で料理をあまりしてなかったのですが、さっそくカレーのときじゃがいもの皮を剥いたり、野菜を切ったり率先して手伝ってくれました。娘は普段の生活では体験できないような活動をたくさんでき充実しているようです。またいろいろな事ができた！という自己肯定感にも繋がっているようです。

【大島チャレンジキャンプ】

初めての綺麗な星空に感動したようです。大島キャンプに行けたことが自信になったようです。海でたくさん遊べていいです！不便なキャンプ生活や船に乗る体験も貴重です。話が止まらないくらいずっと喋ってました。

【大島マリッジキャンプ】

天候に恵まれ、とても良いスノーケリングができていた様子が娘の話から伝わりました。また、自然と娘の口から、親の知らない魚の名前を言及していて、教養がついていることに驚いています。それから、お金を渡して、好きなお土産を買えるという体験は、普段させていないので貴重な体験だと思いました。



- 川のキャンプ

【ワイルド川遊びジキャンプ】

魚を捕まえたことや滝に打たれたこと、キャンプファイヤーの際のスタッフの方との踊りが特に楽しかったようです。川には何度か連れて行ってますが、今までなかったたくさんの気付きや、発見があったようで、お土産話と共に、饒舌に話す姿にびっくりしました。

【山と川の探検キャンプ】

一緒に写真を見ながらキャンプの様子を教えてくださいました。ニジマスのつかみ取りが1番楽しかったようで、魚も美味しく全部食べた嬉しそうでした。「楽しかったからまた行きたい」「ママが夜いなくても全然寂しくなかった」と言っていました。

【川の探検キャンプ】

どの活動内容も、親だけでは経験できない素敵なもので大変有り難いです。集団の中で学ぶこと、体験することも一人っ子なので勉強になります。

- 乗馬のキャンプ

【乗馬2泊キャンプ】

ただ乗馬を経験するだけでなく、世話もすることで馬との信頼関係を育てていくということを学べるよいキャンプだと思います。自然の中で、動物と触れ合い、世話をする大変さや、決して贅沢でない環境でたくましく楽しんでくれる姿が最高です！



【あそびむし乗馬キャンプ】

自分の乗った馬の名前や、馬のお世話など体験したことを細かく聞かせてくれました。テント泊も初めてだったので大興奮で過ごせたことが伝わりました。また、リーダーの方にお世話になったこと、こんなこと教えてもらったなど親以外の大人、初対面の大人と触れ合えたことも貴重な経験となりました。"